

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-65	高等学校	地理歴史科	世界史 B	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	世 B 308	世界史 B		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

世界の歴史に関する基本事項を理解させ、現代の諸課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培うことをもっとも重要な目標として編修した。

構成は導入部および 4 編とした。導入部の「世界史のとびら」では、世界史を学ぶ上で必要となる知識や留意すべき点を例示し、それぞれについて考察できるようにした。また、各編は、第 1 編「さまざまな地域世界」、第 2 編「広域世界の形成と交流」、第 3 編「一体化する世界」、第 4 編「地球世界の形成と課題」とし、世界の歴史における諸地域世界の特色と、現代世界の形成の歴史的過程について理解しやすいよう配慮した。そのなかで、中央ユーラシア世界と海域世界の記述を充実させ、また、東アジアをはじめとした非ヨーロッパ地域の歴史をより主体的にとらえるように工夫し、ヨーロッパ中心的な見方に陥らないようつとめた。

## 2. 編修の基本方針

以下の基本方針のもとに編修した。

- ・世界の歴史について幅広い知識を習得できるよう、基本となる内容を充実させ、それを平易に叙述する。
- ・特定の政治的・思想的立場にかたよらず、客観的かつ公正な資料と優れた研究の成果にもとづいて、高校生として歪みのない歴史認識を持てるようにする。
- ・諸地域・諸文化圏の連関と、それらの内部の多様性との双方に着目させることなどによって、自己を相対化し、自他を尊重する姿勢を養うことができるようにする。
- ・課題を探究する過程を通して、学習者が自分で資料を収集し、考察を深め、考えをまとめて発信することができるようにする。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界史のとびら 1 自然環境 世界史の舞台 2 東アジアでの日本の位置 3 病気と伝染病	諸地域を網羅して内容を充実させ、基本事項を習得し、中立的な歴史認識を身につけられるよう配慮した。(第 1 号)	7～20 ページ
	学習課題を設定し、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにした。(第 2 号)	7, 17, 20 ページ
	日常生活と歴史との関連について考察できるページを設けた。(第 2 号)	18～20 ページ
	気候と農耕・食文化との関連、農業技術の伝播などについて言及し、人々の主体的な活動によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述した。(第 3 号)	7～14 ページ

	自然環境と人類の関係などについて取り上げ、人々の生活と自然環境が密接に結びついていていることを示した。(第4号)	7～14 ページ
	日本と東アジアの関連を考察できるページを設け、日本の成り立ちや東アジアとの密接な関わりについて叙述した。(第5号)	15～17 ページ
	日本の伝統的農耕文化である稲作の成り立ちについて言及した。(第5号)	12 ページ
第1編 さまざまな地域世界	諸地域を網羅して内容を充実させ、基本事項を習得し、中正な歴史認識を身につけられるよう配慮した。(第1号)	21～118 ページ
序章 文明以前の人類		
第1章 オリエン特世界と東地中海世界		
第2章 地中海世界と西アジア		
2世紀の世界	課題を設定して探究するページを設け、さらに学習課題を随所に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにした。(第2号)	37, 58, 73, 87, 103, 117～118 ページ
第3章 南アジア世界		
第4章 東アジア世界		
第5章 中央ユーラシア世界		
第6章 東南アジア世界		
第7章 アフリカ、オセアニア、古アメリカの地域世界	現在の生活の歴史的背景について理解を深めることができるよう、適宜叙述した。(第2号)	51, 52, 75, 106 ページなど
時間軸からみる諸地域世界	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述した。(第3号)	40～42 ページなど
	自然環境と人類の関係について随所で取り上げ、自然環境が人類の歴史の基層となっていることを示した。(第4号)	28, 32, 64～65, 76, 78, 98, 104～105, 110～111 ページなど
	世界と日本の関連や、世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解することができるコラムを随所に配置した。(第5号)	25, 52, 75, 94, 95, 107 ページ
	世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解できるよう叙述した。(第5号)	63, 106, 108 ページなど
第2編 広域世界の形成と交流	諸地域を網羅して内容を充実させ、基本事項を習得し、中正な歴史認識を身につけられるよう配慮した。(第1号)	119～198 ページ
第8章 イスラーム世界の形成		
8世紀の世界		
第9章 ヨーロッパ世界の形成		
第10章 東アジア世界の変容とモンゴル帝国		
第11章 海域世界の発展と東南アジア		
空間軸からみる諸地域世界	課題を設定して探究するページを設け、さらに学習課題を随所に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにした。(第2号)	134, 155, 182, 190, 197～198 ページ
	人文主義や学芸の発展について取り上げ、個人の価値や創造性、自主性の尊重について示唆した。(第2号)	164～167 ページ
	人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述した。(第3号)	164～167 ページなど
	自然環境と人類の関係について随所で取り上げ、自然環境が人類の歴史の基層となっていることを示した。(第4号)	132, 144, 150, 159, 176, 193 ページなど

	世界と日本の関連や、世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解することができるコラムを配置した。(第5号)	182 ページ
	世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解できるよう叙述した。(第5号)	137, 171, 177, 185, 196 ページなど
第3編 一体化する世界 第12章 大交易時代 第13章 ユーラシア諸帝国の繁栄 17世紀の世界 第14章 近世のヨーロッパ 第15章 欧米における工業化と国民国家の形成 資料から読み解く歴史の世界	諸地域を網羅して内容を充実させ、基本事項を習得し、中正な歴史認識を身につけられるよう配慮した。(第1号)	199～290 ページ
	課題を設定して探究するページを設け、さらに学習課題を随所に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにした。(第2号)	213, 219, 234, 253, 264, 287, 289～290 ページ
	職業・勤労や生活について、現在につながる視点を叙述に取り入れた。(第2号)	268～269, 271～272 ページなど
	人権思想の形成と、人権侵害・迫害の歴史的な事実などを、公正な立場から叙述するようにつとめた。また、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述した。(第3号)	259～260, 277～278, 283～288 ページなど
	産業革命などにともなう環境問題について取り上げ、歴史的視点から環境問題を考えることができるよう留意した。(第4号)	264, 269, 272, 283 ページなど
	世界と日本の関連や、世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解することができるコラムを随所に配置した。(第5号)	205, 232, 247 ページ
	世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解できるよう叙述した。(第5号)	210～213, 220, 224, 228～229, 232～233, 237, 239, 241 ページなど
	諸地域を網羅して内容を充実させ、基本事項を習得し、中正な歴史認識を身につけられるよう配慮した。(第1号)	291～435 ページ
第4編 地球世界の形成と課題 第16章 産業資本主義の発展と帝国主義 第17章 アジア諸地域の変革運動 19世紀後半の世界 第18章 世界戦争の時代 第19章 戦後世界秩序の形成 第20章 情報革命と世界経済の一体化 資料を活用して探究する地球世界の課題	課題を設定して探究するページを設け、さらに学習課題を随所に提示することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるようにした。(第2号)	299, 325, 337, 373, 387, 419, 422, 434～435 ページ
	職業・勤労や生活について、現在につながる視点を叙述に取り入れた。(第2号)	307～309, 357, 358～359, 414～415 ページなど
	人権思想の形成と、人権侵害・迫害の歴史的な事実などを、公正な立場から叙述するようにつと	303, 308～310, 325, 331,

	めた。また、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述するとともに、現在において、各人が主体性をもって諸問題に取り組む必要性を明示した。(第3号)	341～343, 357, 380, 383, 409, 410, 426, 427～435 ページなど
	環境問題などについて取り上げ、それらの解決に向けて思考を深めることができるよう留意した。(第4号)	394, 414, 416～417, 427～429 ページなど
	世界と日本の関連や、世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解することができるコラムを随所に配置した。(第5号)	318, 320, 331, 369, 391, 401, 407 ページ
	世界史のなかで日本の歴史・伝統・文化を理解できるよう叙述した。(第5号)	336～337, 340～341, 345, 376～377, 432, 433 ページなど

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- ・地図に独自の参照ページ番号を適宜付し、歴史地図の時系列的変遷を確認できるよう配慮した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-65	高等学校	地理歴史科	世界史 B	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	世 B 308	世界史 B		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・導入部（世界史のとびら）および各編を，学習指導要領の「内容」の枠組みを意識して編成した。
- ・導入部および各編末において，それぞれの学習段階に応じて課題を設定して探究する学習を行えるよう配慮した。
- ・「深める」と題した学習課題を適宜提示し，主体的に探究的な学習に取り組めるよう配慮した。
- ・地図に独自の参照ページ番号を適宜付し，歴史地図の時系列的変遷を確認できるよう配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数
世界史のとびら	1 自然環境 世界史の舞台	(1) ア	7～14 ページ	1
	2 東アジアでの日本の位置	(1) イ	15～17 ページ	1
	3 病気と伝染病	(1) ウ	18～20 ページ	1
第 1 編 さまざまな地域世界	序章 文明以前の人類	(2)	22～27ページ	1
	第 1 章 オリエント世界と 東地中海世界	(2) ア	28～45ページ	5
	第 2 章 地中海世界と西アジア	(2) ア	46～61ページ	6
	2 世紀の世界	(2) ア～ウ	62～63ページ	1
	第 3 章 南アジア世界	(2) イ	64～75ページ	2
	第 4 章 東アジア世界	(2) ウ	76～95ページ	7
	第 5 章 中央ユーラシア世界	(2) ウ	96～103ページ	3
	第 6 章 東南アジア世界	(2) イ	104～109ページ	2
	第 7 章 アフリカ，オセアニア， 古アメリカの地域世界	(3) ア	110～116ページ	2
時間軸からみる諸地域世界	(2) エ	117～118ページ	1	

第2編 広域世界の形成と交流	第8章 イスラーム世界の形成	(3) ア	120～135ページ	5
	8世紀の世界	(2) ウ, (3) ア, イ	136～137ページ	1
	第9章 ヨーロッパ世界の形成	(3) イ, (4) イ	138～167ページ	11
	第10章 東アジア世界の変容と モンゴル帝国	(3) ウ	168～185ページ	8
	第11章 海域世界の発展と 東南アジア	(4) ア	186～196ページ	4
	空間軸からみる諸地域世界	(3) エ	197～198ページ	1
第3編 一体化する世界	第12章 大交易時代	(4) ア, イ	200～213ページ	5
	第13章 ユーラシア諸帝国の繁栄	(4) ア	214～235ページ	9
	17世紀の世界	(4) ア, イ	236～237ページ	1
	第14章 近世のヨーロッパ	(4) イ	238～261ページ	8
	第15章 欧米における工業化と 国民国家の形成	(4) ウ	262～288ページ	9
	資料から読み解く歴史の世界	(4) オ	289～290ページ	1
第4編 地球世界の形成と課題	第16章 産業資本主義の発展と 帝国主義	(4) ウ, (5) ア	292～313ページ	6
	第17章 アジア諸地域の変革運動	(4) エ	314～343ページ	9
	19世紀後半の世界	(4) ウ, エ, (5) ア	344～345ページ	1
	第18章 世界戦争の時代	(5) イ	346～383ページ	13
	第19章 戦後世界秩序の形成	(5) ウ, エ	384～411ページ	7
	第20章 情報革命と世界経済の 一体化	(5) エ	412～433ページ	7
	資料を活用して探究する 地球世界の課題	(5) オ	434～435ページ	1
			計	140